

会社概要

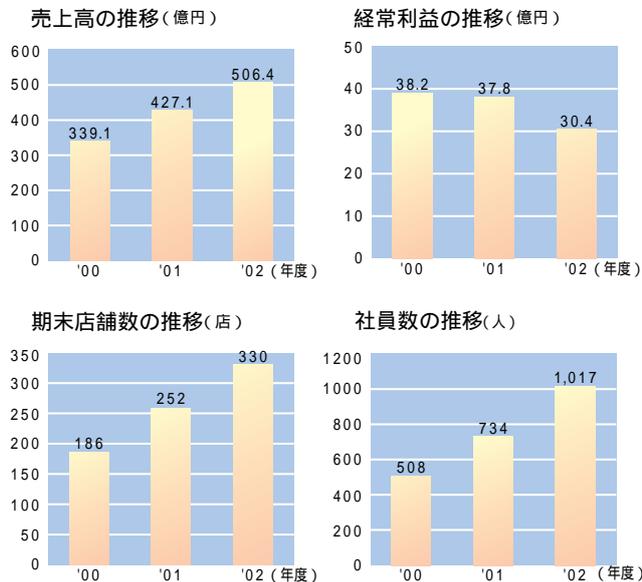
(2003年3月31日現在)

商号 ワタミフードサービス株式会社
本社所在地 東京都大田区羽田1丁目1番地3号(〒144-0043)
TEL(03)5737-2288 FAX(03)5737-2700
創業 1984年4月
設立 1986年5月
資本金 4,318,063千円
従業員数 1,017名(連結)(2003.4.1日現在)
パート・アルバイト在籍数 9,600名(2003.4.1日現在)

関係会社

- ・(株)ティージーアイ・フライデーズ・ジャパン
- ・和民(中国)有限公司
- ・(株)渡美商事
- ・(株)キャリアビジョン
- ・ジャパン・リテイル・メンテナンス(株)
- ・グリーンインダストリー(株)
- ・ワタミファーム
- 他2社

財務データ(連結)



環境年表

- 1998年4月 ISO14001環境マネジメントシステム認証取得に向けて活動開始
- 1999年7月 業界初、ISO14001環境マネジメントシステム認証取得
<認証機関SAS>
「ワタミ環境宣言」掲出
- 2001年12月 環境報告書 第1版
(ふれあい報告書2001)発行
- 2002年6月 JRMリサイクルセンター第1設立
(東京都足立区)
東京都23区内、容器包装系廃棄物のリサイクルスタート
- 2002年7月 ISO14001環境マネジメントシステム認証・更新
<認証機関JAB>
- 2002年9月 環境報告書 第2版
(ふれあい報告書2002)発行
- 2003年3月 日本環境経営大賞・「優秀賞」受賞
- 2003年5月 生ゴミ破砕乾燥機の店舗テスト導入開始
- 2003年7月 JRMリサイクルセンター第2設立
(東京都武蔵村山市)
三多摩、神奈川、埼玉一部地区内
容器包装系廃棄物のリサイクルスタート
- 2003年8月 第12回「日食・環境資源協力賞」受賞
- 2003年9月 環境報告書 第3版
(ふれあい報告書2003)発行

編集後記

2004年ゼロエミッションに向けて、今ワタミグループは挑戦しています。よくお取引先の方から「外食産業はそんなに環境影響は大きくないのでは?」「ゼロエミッションを達成することにどんな意味があるの?」「そんなことでも売上増には結びつかないのでは?」と指摘されます。

果たしてそうなのでしょうか?

確かに私達外食産業の個店ベースの環境影響は、他の製造業等と比較すると大きくはありません。しかし私たちは多店舗展開をしています。現在店舗数は約300ですが、1,000店舗出店を目指して企業活動を行っています。ひとつの店舗では小さな数字かもしれませんが、全国に広がる私たちの店舗を集計すると大きな環境影響になります。

例えば、1984年ワタミがビジネスをスタートした時は、廃棄物の発生量は21t/年でした。それが2002年は5,361t/年となり、1,000店舗を実現する年には21,000t/年に達することが予想されます。

このような確実に来る未来を知りながら何も行動しないわけにはいきません。そもそも私達外食産業は地球環境の恩恵を一番受けている産業といえます。毎日提供する食事や飲み物は豊かで、安全な地球環境があってこそできるものです。私たちが店舗で廃棄物の分別をし、焼却する

ゴミを少しでも減らす、店舗で電気や水道の使用量をこまめにチェックすることは、長期的には温暖化原因である二酸化炭素発生量を削減することにつながります。

最近「近海の魚のダイオキシン汚染が進んでいる」とか「世界各地で異常気象が多発している」というニュースが毎日のように私たちの耳に入ってきます。

今の状態をこのまま放置しておく、近い将来、私達の経済活動の土壌そのものがなくなってしまうことは必然のことと思われま

す。売上、利益を追求しながら、環境に配慮するという事は矛盾していることかもしれません。しかし、私たちはその矛盾に目をそむけてはいけな

いと考えます。あえてその矛盾に挑戦し、解決策を見出し行動することが、21世紀に私たちが経済活動を行う上での使命であると確信しています。決して今の私たちの活動は十分であるとは考えていません。いまのやり方がベストではないかもしれませんが、それでも私たちは、未来の子ども達のために、これからもずっと、この矛盾に挑戦し続けていきたいと考えています。

ワタミグループ環境推進リーダー 遠藤 恒夫

アンケートをお願いいたします。

どのような立場でこの報告書をご覧になっていますか？

1つだけ✓をつけてください。

消費者 株主 お取引先 投資家・投資機関 調査機関
 企業の環境担当者 行政の担当者 教職員 学生 環境NGO 当社社員
 その他（具体的に)

報告書についての満足度

1つずつ✓をつけてください。

内容	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
ページ数	多い	やや多い	ちょうど良い	やや少ない	少ない
わかりやすさ	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満
表紙デザイン	とても良い	良い	普通	やや悪い	悪い

興味があった項目（複数選択可）

✓をつけてください。

トップメッセージ(P3) ワタミグループ事業活動(P5) 店舗での取組みの全体像(P7)
 環境管理体制(P9) 環境目的・目標(P10) 環境会計(P11) 環境パフォーマンス(店舗での取組み)(P12)
 環境パフォーマンス(ゼロエミッション)(P13) 環境パフォーマンス(省エネ・節水・グリーン購入)(P15)
 環境教育(P17) 安全・安心への取組み(P19) 社会貢献(ボランティア)(P21)
 社会貢献(スクール・エイド・ジャパン)(P23) リスクマネジメント(P25) 会社概要/編集後記(P27)
 環境・社会活動に対する所感(P30)

ワタミグループの社会活動全般について、評価するとしたら以下のどれに該当しますか？ 1つだけ✓をつけてください。

とても良い 良い 普通 やや劣る

評価する項目はなんですか？

()

今後、ワタミグループに期待することはなんですか？

その他、本報告書やワタミグループの社会活動に対して、ご意見やご感想などがございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。お差支えなければ下記にご記入ください。

お名前（フリガナ)	性別 男 女	年齢 歳
ご住所（〒 -)		
Eメールアドレス	ご職業（勤務先） 部署名	

FAX送り先：03 - 5737 - 2719



高品質の施設管理を実現するトータル管理システムは JRMにおまかせください。

基本サービス 当社の基本サービスメニューは、お客さまのニーズにあわせて効果的で効率の高い施設設備等管理プログラムを設計いたします。

1. 突発故障のコールセンター

24時間365日受付対応します。

- ・突発故障を24時間365日、御社に代わって対応いたします。
- ・修理履歴をデータ化し、改善のご提案をいたします。
- ・洗剤、電球、備品等の販売

2. 保守メンテナンス

**予め故障を予防する
メンテナンスを実施します。**

- ・エアコンクリーニング(空調機分解清掃)
- ・冷機器フィン洗浄・配水管高圧洗浄
- ・厨房機器のオーバーホール
- ・グリストラップ汚泥回収と清掃
- ・トイレ撥水加工と尿石除去

3. 店舗定期清掃、害虫・害獣駆除

**客席と厨房などの日常掃除でできない
ところを徹底してキレイにします。**

- 清掃
- ・客席床...化学床、石床、カーペット等の洗浄からワックス塗布、防汚、撥水加工
 - ・厨房床...機器下のゴミ掻き出し、高圧洗浄
 - ・厨房内...排気フード、照明
 - ・看板...面板清掃、電球交換
 - ・テント...テントクリーニング
- その他、植栽や庭園管理等も承ります。
- 害虫・害獣駆除
- ・ゴキブリ、小バエ、ネズミのスポット駆除施工や年間管理

4. 食品衛生管理

**衛生検査からコンサルタントまで
幅広く対応します。**

- ・衛生検査
- ・検便
- ・衛生コンサルタント
- ・衛生マニュアル作成
- ・食品工場の衛生管理
- ・洗剤類のシステムの導入

5. 環境マネジメント

**エネルギーから廃棄物管理、
リサイクルまで
トータルでマネジメントします。**

- ・廃棄物管理
- ・リサイクルシステム構築
- ・ISO14001認証取得サポート
- ・省エネに関する機器、システムの導入

6. 厨房工事

**設計施工一式から機器調達
まで承ります。**

- ・厨房工事一式
- ・機器販売
- ・店舗客席改装

上記メニュー以外、
どんなことでもご相談ください!

24時間365日受付対応

<http://www.jrm24.co.jp>

裏ページがアンケート用紙になっております。

ご意見・ご感想をお聞かせください。

ふれあい報告書2003をご覧いただきありがとうございました。よりよい報告書を作っていくために、皆様のご意見、ご感想をお聞かせください。

FAXまたは、ホームページのEメールでお送りください。

FAXの送り先 **03 - 5737 - 2719**

メールでお送りいただく場合
ホームページをご覧ください。 <http://www.watami.co.jp>



「環境貢献」「社会貢献」が「人間貢献」に ～ワタミフードサービス株式会社 ふれあい(環境・社会)活動に対する所感



株式会社 トーマツ環境品質研究所
代表取締役社長

古室 正充
(公認会計士)



ワタミフードサービス株式会社(以下「ワタミ」と称する)の「ふれあい報告書2003(以下「報告書」と称する)」を拝見すると共に、店舗での活動の見学、従業員の方へのヒアリングに基づき、第三者としての所感を述べさせていただきます。

1. 業界をリードする先進的ところみ

私とワタミとのお付き合いは、ワタミが外食産業初のISO14001の認証取得活動に取り組んだころにさかのぼります。本社、店舗一体となつての取組みにより、1999年7月に認証を取得されましたが、当時から1つの目標に向かってまい進する会社のパワーには驚かされました。以後、様々なところみがなされてきましたが、今回特に以下の2点をご紹介します。

(1) JRM社と連携した環境管理活動

ワタミでは店舗を含めた環境管理活動の多くを関連会社のJRM社に委託しております。特筆すべきは、店舗の清掃やメンテナンス、リサイクルといった現場でのオペレーションだけではなく、環境管理責任者や事務局業務といったプレーンとしての役割も担っているという点です。

JRMに環境管理活動全般のノウハウを蓄積することで、将来の環境ビジネスにつなげていく、すなわち環境のプロが環境経営を遂行していくというワタミの極めて斬新な環境経営戦略を伺いすることができます。今後はグループ戦略策定といったプレーン面の一層の充実をどのようにはかかっていくかが課題になるかと思えます。

(2) 2004年ゼロエミッション

ワタミでは、2004年ゼロエミッションに向けてリサイクルを軸とする活動を積極的に展開しています。外食産業で特に問題となるのは、食品廃棄物のリサイクルです。

食品リサイクル法が施行されているとはいえ、食品廃棄物のリサイクルは実務上様々な問題を抱えており、業界全体が岐路にさしかかっている状況です。今回、実際に店舗を見学

した際も、生ゴミ処理に苦労している話を伺いました。

こうした困難な状況の中、明確な数値目標を掲げて取り組む姿勢は高く評価できると思います。ここでもJRM社が深く関わっていることは言うまでもありません。

2. 「ふれあい」コンセプト

ワタミの報告書には、「ふれあい報告書」というユニークなタイトルがついています。お客様、従業員をはじめとする利害関係者との様々なつながり、即ち「ふれあい」という観点を軸として報告書をまとめるという考え方からこのようなネーミングがついたと思われます。

「地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい」というワタミのグループコンセプトに合致した、環境報告書でも、環境・社会報告書でも、サステナビリティ報告書でもない独自の考え方ではないでしょうか。

3. 「人間貢献」をめざして

私は、報告書は企業を映し出す「鏡」であると考えております。報告書のレベルアップには、経営そのもののレベルアップが不可欠となります。

報告書で紹介されているワタミの様々な「環境貢献」や「社会貢献」への取組みはワタミの経営の根底にある「人間への貢献」というキーワードを写しだしています。

今後も「ワタミの成功が社会の成功につながる」という意思をもって、「環境」「社会」そして「人間」貢献のために、様々な課題にチャレンジしていくことを期待しております。

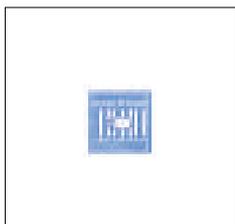
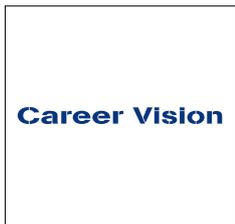
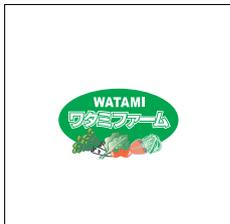
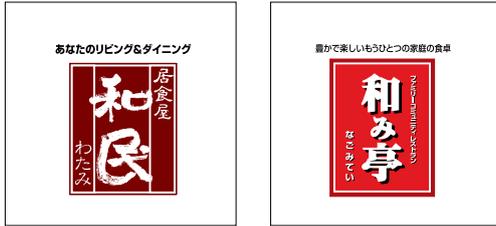
以上

本所感は、環境報告書に記載されている情報の正確性に関する第三者としての意見表明を行うものではありません。

ふれあい報告書2003

2003年9月発行（次回発行予定2004年9月）

環境・社会活動報告



ワタミフードサービス株式会社
東京都大田区羽田1丁目1番地3号（〒144-0043）
お問合せ先TEL(03)5737-2784 FAX(03)5737-2719
ワタミふれあいホームページ <http://www.watami.co.jp>

ジャパン・リテイル・メンテナンス株式会社
東京都大田区羽田1丁目1番地3号（〒144-0043）
お問合せ先TEL(03)5737-7101 FAX(03)5735-5531
JRMホームページ <http://www.jrm24.co.jp>



この報告書は、古紙パルプ100%とアロマフリータイプの「大豆油インキ」を使用しています。印刷には強いアルカリ現像液を使用しない水なし方式の平版印刷を採用しています。